

就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	株式会社SANCYO TANOSHIKA FARM	事業所番号	4012701928
住 所	福岡県久留米市津福本町845-5	管理者名	阿部 真生
電話番号	0942-38-2655	対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要	
<活動内容> 活動場所 TANOSHIKA FARM事業所 実施日程 2024年8月19日 実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要： 働く上で必要な配慮を考える 利用者数：14名	<活動の様子> 
<目的> 利用者が働く上で必要な知識について理解を深め、現状に応じた対応できるようにする。これにより、職場での円滑なコミュニケーションや安定した就労につなげることを目指す。 利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい： 自信や課題を把握し、職場での適応力を高める。 必要な知識を伝える力を養い、より良い職場環境を築く。 効率的な作業の進め方や協力の方法を学び、職場での貢献度を向上させる。 利用者にとってのメリット： 働くためのスキルを理解し、継続的に働けるようになる。 職場での人間関係が円滑になり、安心して働ける環境を整える。 働くための方法がスムーズになり、達成感ややりがいを感じやすくなる。	
<成果> 実施した結果得られた成果： 実施の結果、利用者は自身の特性や必要な配慮を理解し、適切に対応できるようになった。これにより、職場でのコミュニケーションが円滑になり、適応力が向上した。また、自分に合った働き方を見つけることで作業効率が上がった。安定した就労につながった。さらに、職場の協力体制も強化され、より働きやすい環境が整った。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

一般就労への移行に向けてだけでなく自身の『配慮事項』について考える事は自身の生きやすさや働きやすさを考えていく一つのきっかけとなることを改めて利用者・指導員共に検討する時間として研修を実施。配慮とは『誰かに何かをお願いすることではなく互いを知る中で整理することであるという点について学びを得られるように取り組みを行いました。就職をするためではなく日常の事業所利用時にも指導員にどのように相談するか、伝えていくかということから自身の働きやすさを作っていくロールプレイを行いながら利用者の気づきと学びの時間となったと考えています。まずは事業所利用時の安定勤務が可能となる状況を作る為、また配慮として本人にとって必要な部分を整理することを今後の事業所内支援にて取り組み、日々の利用者への支援に活かしていただきたい。

連携先企業(担当者)

合同会社Dweild(宮本 孝之)

利用者からの意見・評価

参加した利用者からの意見・評価
自分に必要な配慮を理解することで、働きやすい環境をつくれると感じました。働く上で困ることに意外と多く当てはまるものがあり、自分の課題を改めて知ることができました。面談で苦手なことを話せたことで、支援員に理解してもらえた安心感もありました。少しずつ克服できるように、一日一日頑張って出勤を続けていきたいです。(30代 KMさん)

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	株式会社SANCYO TANOSHIKA FARM	事業所番号	4012701928
住 所	福岡県久留米市津福本町845-5	管理者名	阿部 真生
電話番号	0942-38-2655	対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要	
<活動内容> ・活動場所: ベジサーク ハウス内作業 事業所 室内作業 ・実施日程: 令和6年1月～ ・実施した生産活動・施設外就労の概要 小松菜の収穫作業、調整、量り、袋入れ、箱詰め作業 ほうれん草の調整作業～出荷準備 ブロッコリー調整作業 ・利用者人数 平均10～15名 多様な人材が地域で活躍することで、相互理解が深まり、地域の活性化につながりました。また、新たな働き手が増えたことで、生産の効率化や収量の増加にも貢献しました。	<活動の様子> 
<成果> 多様な人材が地域で活躍することで相互理解が深まり、地域の活性化につながりました。また、新たな働き手が増えたことで、生産の効率化や収量の増加にも貢献しました。 一方で、課題としては、日々の作業効率をどのように向上させるかが挙げられます。今後、より円滑に業務を進めるための工夫や改善が求められます。	

連携先の企業等の意見または評価			
連携した結果に対する意見または評価 連携の結果、生産効率が向上し、それに伴い利益率の向上にもつながっています。新たな働き手の確保や地域との協力体制が効果を生み出し、持続的な発展に寄与していると評価できます。今後は、さらに作業効率を高める取り組みを進めることで、より安定した成果が期待されます。 今後の連携強化に向けた課題 連携により生産効率が向上し、収量の安定化や利益率の向上につながっている点は評価できます。特に、多様な人材の活躍が地域の活性化にも寄与しており、今後のさらなる発展が期待されます。安定性のある作業効率の確保、作業のばらつきを減らし、安定した効率を維持するための取り組みが必要です。具体的には、作業マニュアルの整備、機械化の推進、作業者のスキル向上などが課題となります。			
連携先企業名	株式会社 ベジサーク	担当者名	尾形